

日本の人身取引対策「人身取引対策行動計画2014」

1. 人身取引の実態把握の徹底
2. 人身取引の防止
3. 人身取引社会の認知の推進
4. 人身取引の撲滅
5. 人身取引被害者の保護・支援
6. 人身取引対策推進のための基盤整備

被害の防止
Prevention

加害者の起訴
Prosecution

被害者の保護
Protection

パートナーシップ
連携・協働
Partnership

実態把握、職員研修、情報交換、悪質雇用主・ブローカーの取締、国際協力、社会啓発、法制度の整備、需要のコントロール、関係機関の連携

「人身取引対策行動計画2014」が、総合的・包括的な人身取引対策として策定されています。人身取引対策の基本は、Pを使って表すことができます。

第4次男女共同参画基本計画では、第7分野「女性に対するあらゆる暴力の根絶」の7「人身取引対策」第8分野の2「高齢者、障害者、外国人が安心して暮らせる環境への整備」に関する記述が入りました。

私にできること



パネル展



職員研修



大学生による女性センターでのワークショップ



「人身取引の問題は身近なところに解決の糸口があります。あなたはまず何ができますか？」

貸出パネルを人権や男女共同参画に関するイベントや学習に活用してください。

☆NWECCの調査研究や参考資料については下記HPをご覧ください。
このリーフレットの他にクイズなどもホームページからダウンロードできます。

<http://www.nwec.jp/jp/program/research/page04.html>

独立行政法人 国立女性教育会館
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL 0493-62-6479(研究国際室) FAX 0493-62-9034
rese@nwec.jp

★参考資料
「人身取引(トラフィッキング)問題について知る2011」



「人身取引」と「女性に対する暴力」をなくすために

夫やパートナーからの暴力

配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数 99,961件
2013年度

セクシュアル・ハラスメント

労働者からの相談件数 11,289件
女性 6,725(60%)
男性 4,564(40%)
2014年度

売買春

売春防止法違反検挙件数 1,012件
要保護女子総数 604人
2014年

ストーカー行為

ストーカー認知件数 22,823件
そのうち女性被害者 89.3%
2014年

女性に対する暴力って何?

児童買春事件・児童ポルノ事件

被害児童数 1,212人
児童買春・児童ポルノ送致件数 2,489件
2014年

性犯罪

強かん、強制わいせつ

強制わいせつ件数 7,400件
強かん件数 1,250件
2014年

人身取引

性犯罪

少年被害者(20歳未満)強姦 506人
2014年



「人身取引について知っていますか？
これから人身取引の問題について一緒に考えていきましょう！」

最初の一步は「知ること」から

「人身取引」は、世界的に大変深刻な人権侵害です。被害者は、性別も国籍も年齢も様々です。特に、女性たちの受ける身体的・精神的暴力、脅迫、監禁などの被害は断じて許せない女性に対する暴力です。

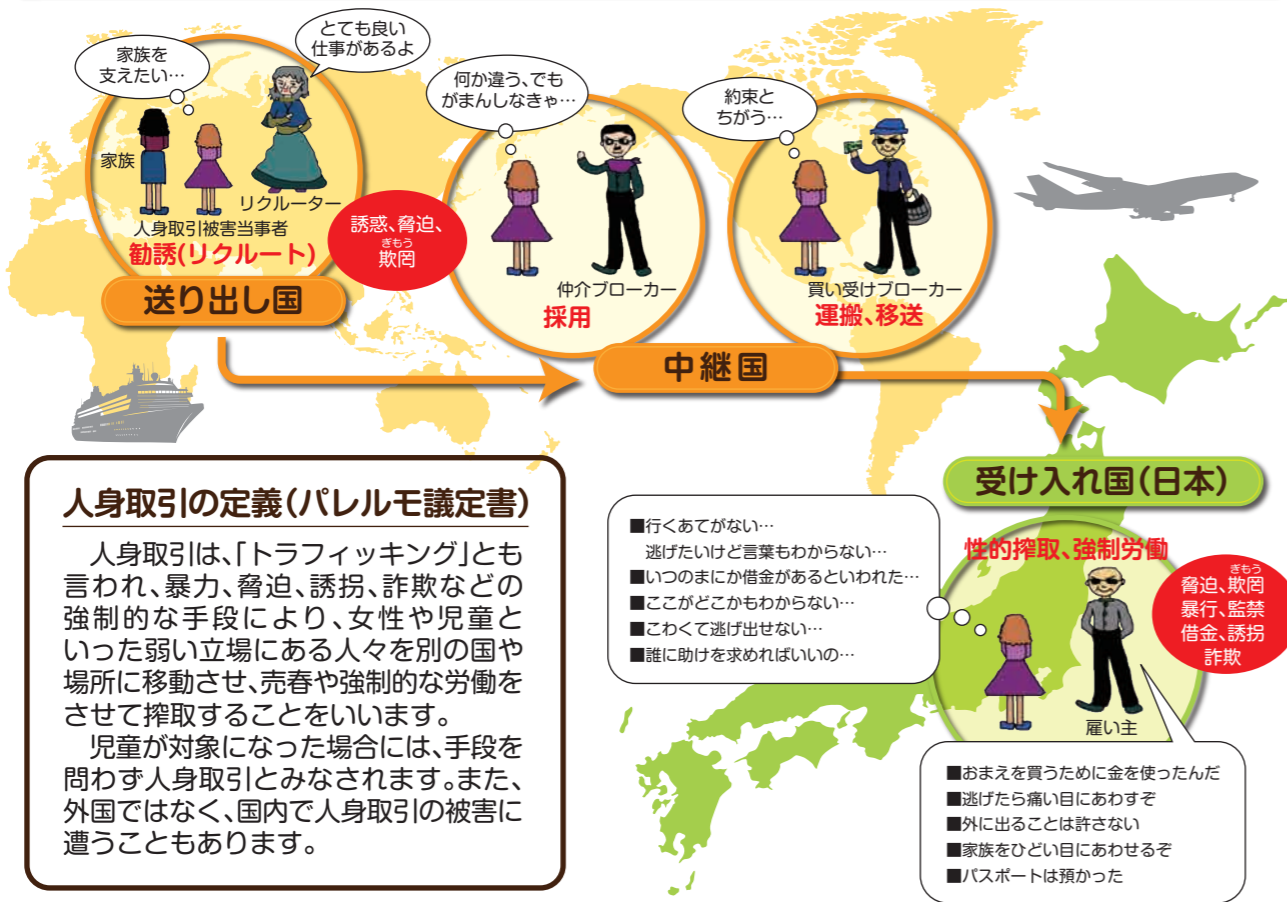
日本でも、多くの女性や子どもが海外から性的・搾取的労働に従事させるために連れてこられ、人身取引の被害にあっています。

世界中で広がるこの問題の解決には、被害者の保護と支援、加害者の処罰、さらに、女性たちを搾取する需要の根絶、貧困の撲滅や平和を進める国際協力が重要です。

まずは、私たちが実態の正確な理解を深め、社会の意識や関心を高めていくことが必要です。

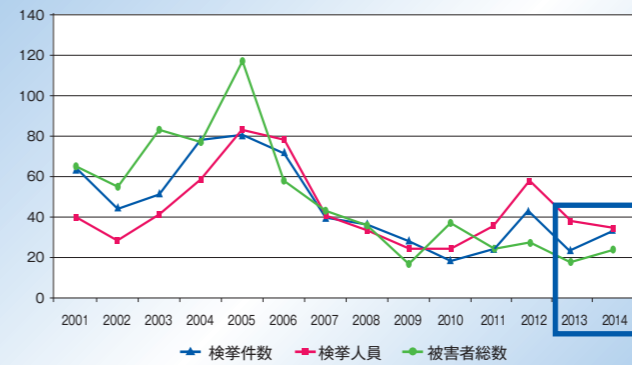
一人ひとりができることから一緒に取り組んでいきましょう。

人身取引って何？「人身取引の構図」



日本における人身取引事犯の検挙状況

検挙件数、検挙人数、被害者数の推移



被害者の出身国

	2013	2014	2001~2014合計
検挙件数	25	32	640
検挙人員	37	33	607
ブローカー数	10	6	152
被害者総数	17	24	681
タイ	6	1	224
フィリピン	1	10	184
中国(台湾)			49
日本	10	12	54
中国(マカオ)			2
中国		1	8
中国(香港)			2
バングラディッシュ			1
インドネシア			76
コロンビア			58
韓国			12
ルーマニア			4
ロシア			2
カンボジア			2
オーストラリア			1
エストニア			1
ラオス			1

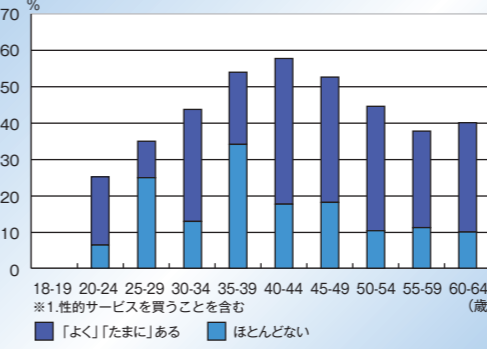
ある事例では、東南アジアの女性数名が、経営者に旅券を取り上げられた上、店外デートや同伴出勤を強いられていました。拒否した場合や思うように業績をあげられない時には、食費をけすられたり、経営者らによる性的暴力を受けていました。

最近は日本人被害者が増えていることも特徴的です

日本の人身取引の被害拡大の原因

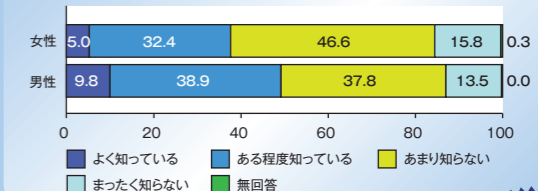
軽視

a. 男性の買春経験



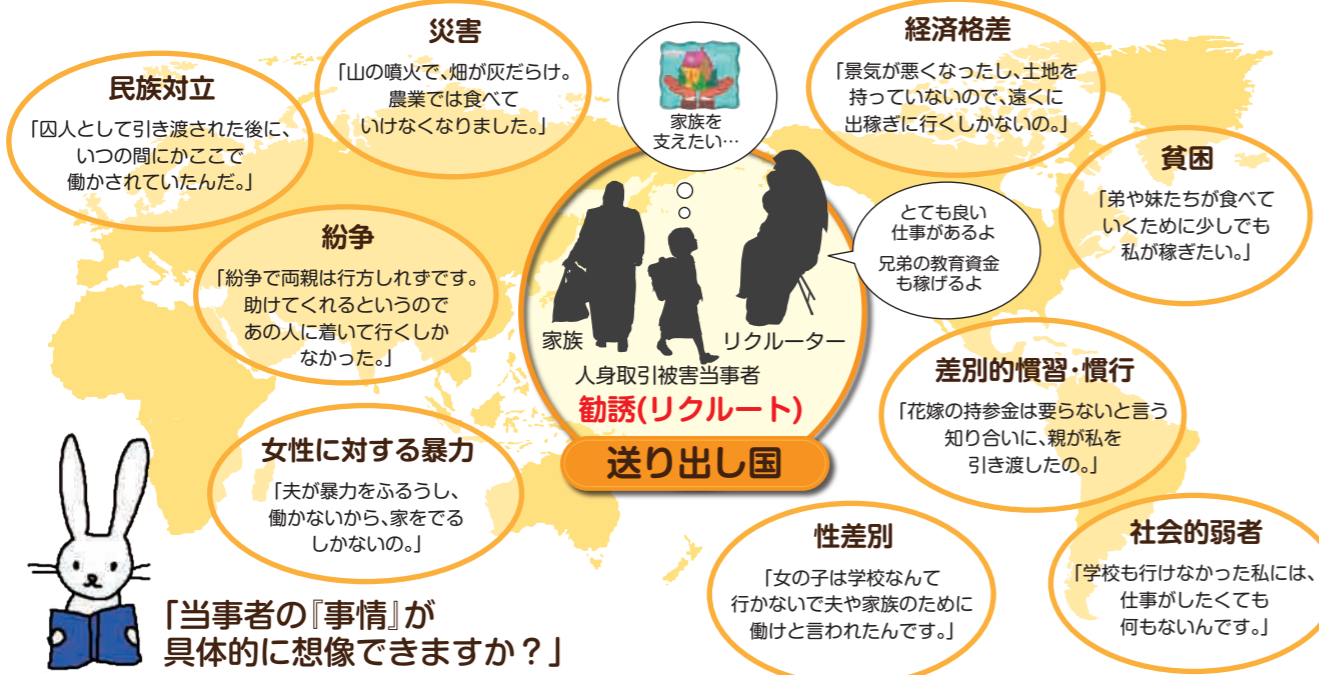
無関心

c. アジアなどで人身取引された女性が日本に送られていることを知っていますか？



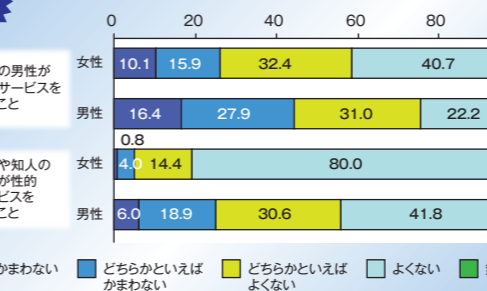
女性の方が知らない人が多い

送り出し国の事情



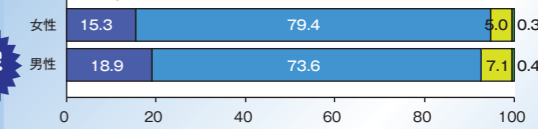
蔑視

b. 男性の買春行動についての男女の意識



非寛容

d. 性風俗産業の外国人女性の就業理由についてどう思いますか？



差別

e. 性風俗産業の外国人女性への対処についてどう思いますか？



※「現代人の意識と行動に関する調査」(国立女性教育会館)から

「問題の背景には、私達のどのような意識や考えがあるのでしょうか？」